

皆さんの家の冷蔵庫は使いやすく整っていますか？出入りが激しいので、気を緩めるとつつい散らかりがちに。でも毎日使う場所だからこそ、整っていれば気持ち良く生活できます。ぜひ皆さんもチャレンジしてみてくださいね♪

1. 問題点を考える

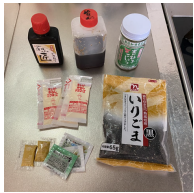


まずは問題点を考えます。今回の場合、①使っていない＆期限切れのモノがあり、全体量が多い、②空いたスペースにモノを詰め込む→奥に入り込む→何があるか分からない、③同じグループのモノが点在している（調味料が左ドアポケット・右下奥・野菜室にある）等が挙げられます。

そこで、不要なモノは捨て

常温保存OKなモノは冷蔵庫から出して庫内の全体量を減らし、同じモノでグループ分けをして住所を決め、使いやすいように収納するようにしました。

2. 捨てる・減らす・増やす



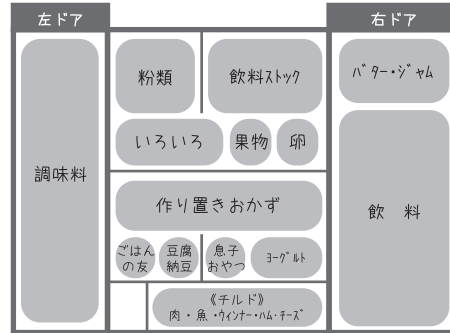
いよいよ実践！まずは、不要なモノを減らします。賞味＆消費期限切れ、腐っているモノは迷わず捨てます。期限が切れていなくても使わずに残っているモノは今後もきつと使いません。捨てましょう。今回もさまざまなモノが出てきました。この他にもちょっと飲んだだけのワイン、開封済の湿布等が出てきました。

また、常温保存OKなモノがあったので、こちらも冷蔵庫から出しました。（保存方法はパッケージに記載してありますが、開封前と後で保存方法が異なる場合があるのでご注意ください）

あと、逆に置き場を失って野菜室に追いやられていたウスターソースやそうめんつゆは冷蔵庫に戻しました。

3. グループ分けをする

次に、グループ分けし収納する場所を考えてみましょう。毎日の使い勝手を考えながら大まかに考えていきます。調



調味料は片方のドアだけ開けて見渡せるように全て同じ側に、子供が自分で出すモノは手の届く低い位置に、作り置きおかずは大物を入れる場合があるのでスペースを大きく取りました。

4. 検討

グループ分けをしたら、実際にどうやって入れるか検討してみましょう。同じグループで収納用品に入れた方が奥のモノが取り出しやすく便利な場合も。必要があれば購入しましょう。その際は必ず事前にサイズを測ること！適当に買うと失敗のもとです。

5. 収納して完成！



実際に収納してみました。全体量が減りモノの住所が来たので、どこに何があるかパッと見て分かります。入る分だけ買うようになったので、必要以上のモノを買わなくなりました。隙間が増えたので冷却効率もアップしそうですね！

スタッフのつぶやき



先日、息子が3歳になりました。3年はあっという間で…いつの間になら歩くようになって、喋るようになって、気がつけば寝ている以外はずーっと動いているか喋っているか(笑)の元気いっぱいの子に成長しました。元気すぎて疲れることも多々ありますが、これまで大病もなく成長してくれて感謝です。



今は電車が大好き！オモチャも好きだけどやっぱり乗るのが一番大好きで、息子と電車の旅をするのが私の楽しみでもあります。これからどんな風に大きくなっていくのか？楽しみです(^-^)

by宮本

編集後記***

第18号のはぐら建築工房通信はいかがでしたでしょうか？(^-^) 少しでも皆さまのお役に立てれば幸いです。

さて、新型コロナウイルスの感染者が京阪神でもまた少し増え、また緊急事態宣言が発令されないかとても不安ですね…。これ以上感染者が増えないよう祈るばかりです。。今後もうがい手洗いや除菌、三密回避など、一人ひとりが出来ることを実践し、コロナと共存して生活できるよう頑張っていきましょう！

これから夏本番になりますます暑くなってきますので、皆さま熱中症にはお気をつけてお身体ご自愛下さいね！
ではでは、次号をお楽しみに♪

編集：宮本

はぐら建築工房通信／第18号 2020年07月15日発行

発行所：はぐら建築工房 株式会社

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄古川1番地の1

TEL*(0774)26-8679 FAX*(0774)26-8680

<http://www.hagura-kenchikukobo.net/>

